

熱中症対策

競技は下記指針に基づき取り組むこととする（WBGT31℃原則中止）。但し
運営上、中止が困難なとき次の対応策を講じ競技を行う場合がある。

- 1 開始時間を早め、危険指数に達する時間帯を避ける
- 2 給水タイムを設ける
- 3 守備時間が20分を超えるような場合は、試合を中断し給水タイムを設け
休息させる
- 4 役員・審判員・指導者・保護者は、常に選手の状態に気を配るとともに、
選手の異常を感じたときは、試合を中断し適正な処置を講じる
- 5 ベンチに給水等サポート要員を入れるなど、安全対策を最優先した競技運
営に努める

**暑さ指数 (WBGT) をチェックして
熱中症を予防しよう!**

暑さ指数 (WBGT: 湿球黒球温度) は、熱中症を予防することを目的として提案されました。
「湿度」「日射・輻射など周辺の熱環境」「気温」の3つを取り入れた指標で、気温とは異なります。(単位は℃)

気温 (参考)	24℃	24~28℃	28~31℃	31~35℃	35℃以上
暑さ指数 (WBGT)	21℃未満	21~25℃	25~28℃	28~31℃	31℃以上
注意事項	ほぼ安全 😊 適宜水分を補給 しましょう	注意 😓 積極的に水分を補給 しましょう	警戒 😓 積極的に休息を 取りましょう	嚴重警戒 😓 激しい運動は中止 しましょう	危険 😓 運動は原則中止 しましょう